

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 ILIS CLUB 浪速

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		既定の広さは満たしており、フロアの広さの確保、個室の確保の為、倉庫を設置、整頓に努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用人数に応じて、スタッフを配置しています。	配置数は適切であるが、スタッフの男女比によりトイレ介助等困る場面がある為、勤務表作成時に男女比についても配慮し、適切な体制づくりを行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差等もなく、トイレには、手すりを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼を毎日行い、その日のプログラムに合わせ児童の目標設定を行う 児童個別の目標を設定し、振り返りを行う時間も設けています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎日の朝礼や事業所会議等の話し合いの場において保護者の希望を視野に入れながら取り組み、全スタッフで情報共有を行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		必要に応じて今後検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内、事業所内研修を実施。知識・技術の向上を図っています。	新人研修は様々な項目があり充実しているが、それ以外は少ない所があると感じる為、研修の機会を増やしていきたいと思えます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		必ず保護者との面談を実施し、要望や普段の療育の様子から目標を設定し、個別支援計画書の作成を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動の目標・目的等を明確にし、スタッフ間で話しあいながら取り組んでいます。	チーム内で修正・共有の質を高めていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		会議や終礼等でプログラム内容の振り返りと設定案を話しあい、固定化されないように取り組んでいます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日の送迎時間や児童の様子も踏まえて、それぞれに課題設定を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		現状・課題・目標を集団・個別活動それぞれに視野をおいて保護者の要望や児童の様子も合わせて個別支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に当日のプログラムやスケジュールについて話し合い、主に誰につくか、どういう動きをするかを考えられるパターンに合わせて細かな所まで動き方を考えています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行い、注意点や改善点などを話し合いながら、記載して職員間で共有できるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		朝礼・終礼時の内容を引き継ぎノートに記載し全スタッフが閲覧できる様にしています。また会議時は会議議事録に記録を残しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3か月に1度モニタリングで中間評価を行い必要に応じて見直しを検討しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○		スタッフ間で協議しながら、複数組み合わせるように努めています	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者またはマネージャーが参加し、得た情報を全スタッフに情報共有、周知しながら統一した対応を行っています		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		基本的には保護者様を通して行っていますが、緊急時や必要に応じて情報共有や連携を行っています。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療ケアが必要なお子様や重症心身障害児等はありません	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学時において、就学前の施設と情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者様や卒業後通う施設から要請等あれば、積極的に情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		密に行えていない場合等要望があった際、連絡を取り担当者会議に参加したり、助言を求める等行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		感染症など社会情勢を鑑みながら、機会を見て開催して参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		浪速区の自立支援協議会に月1回、マネージャーまたは児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用後の送迎時、半年に1度の個別支援計画書作成時、または必要に応じて面会機会を設けて共通理解の共有に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		定期的な面談や要望に応じて都度助言をするようにしており、保護者様の変化にも十分気を付けています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明をしています。また必要に応じてその都度説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		発達についてや家庭、教育機関等での様子について相談をうけた際は適宜対応させていただいています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		以前年に2回、下半期1回、上半期1回、必ず親の会を開催し、保護者様同士の連携を促して参りました。機会を見て、今後も実施して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		普段から何かあれば相談いただくよう説明を行い、申し入れがあった際はその都度対応するようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一度のおたよりの郵送、月に2回以上のブログやSNS更新で活動内容や行事予定等をお伝えするようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		カギの付いた書庫に保管しており、持ち出す際も名前を消す等、十分に気を付けて取り扱いしています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様や保護者様に伝わりやすいよう伝え方や方法には配慮を行い、言葉だけではなく、絵カード等も用いながら、伝えています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所の取り組みの周知も含め、可能であれば近隣の方たちとの共同イベント等も検討していきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		スタッフ間では周知しています。保護者様には周知しきれていない部分もある為、契約時にも説明を加え、おたより等でも発信して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必ず月に一度火災や地震を想定した避難訓練を実施しております。	行っているが、内容の質をより高めて参ります。訓練を行った日は、職員から保護者に伝達しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		一年に一回、虐待防止研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束が必要な対象児童がいないが今後必要であれば事前に説明を行い、別支援計画への記載も行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者との情報共有を行い、対応させていただいております	食物アレルギーを持つ児童はいるが、医師の指示書はもらっていない。今後、指示書をいただき、それに従って対応できるようにして参ります
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その都度スタッフ間で共有、話し合いを行った内容を記録。また、アイリス他事業所の事例についても必ず目を通しています。	ヒヤリハットの情報共有は出来ているが、事例として作成できている事が少ない。